

えどがわ 区議会 だより

令和7年第4回定例会号

発行
江戸川区議会

<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を
心からお祈りいたします



島村議長

太田副議長

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和8年の幕開けにあたり、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

本年、令和8年(2026年)は昭和元年(1926年)から起算して満100年を迎えます。本区では、戦後の復興を経て高度経済成長期最中の昭和40年(1965年)に全国から応募された歌詞による区歌が制定されました。希望と郷土愛に満ち溢れた区歌は、制定されて60年を超えてなお歌い継がれています。

さて、昨年を振り返りますと、誰もが活躍できる世の中の到来を感じさせる「憲政史上初の女性総理大臣」が誕生したことが大きなニュースとなりました。本区では、50回を迎えた江戸川区花火大会の「富士山の仕掛け花火」が高さ59.2メートルで『最も高い山型の仕掛け花火』としてギネス世界記録™に認定されました。また、公募によるデザインをアンケート投票で決定した原付バイク等のご当地ナンバープレートの交付が開始されました。長年愛されてきた区歌のように、皆様に親しんでもらえることを願っています。

海外に目を向けますと、大谷選手をはじめとする日本人選手の活躍により、ロサンゼルス・ドジャースがワールドシリーズ連覇を果たす等、我々も日本人として誇らしく感じる1年でした。

戦争による苦難からの変革を経て復興した激動の昭和という時代を踏まえ、本区の目指す「ともに生きるまち」の推進に向け、区民の皆様の声を大切にしながら本年も誠心誠意努めてまいります。

今後とも、区民の皆様の変わらぬご理解とご支援を区議会としてお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

令和8年新春

江戸川区議会 議長 島村 和成
副議長 太田 きみひろ

迎春



島村 和成
自由民主党



田中 寿一
自由民主党



金井 高志
自由民主党



小林 ともお
自由民主党



勝山 まゆみ
自由民主党



田島 寛之
自由民主党



しかくろ 勇
自由民主党



岩田 まさかず
自由民主党



野崎 まこと
自由民主党



福本 みつひろ
自由民主党



高木 ひでたか
自由民主党



ふじさわ 進一
自由民主党



須賀 精二
自由民主党



川瀬 やすのり
公明党



竹内 すすむ
公明党



関根 まみ子
公明党



堀江 そういち
公明党



中道 たかし
公明党



伊藤 てる子
公明党



所 たかひろ
公明党



佐々木 ゆういち
公明党



佐野 ともこ
公明党



川合 さなこ
公明党



太田 きみひろ
公明党



くぼた 龍一
公明党



笹本 ひさし
超党派えどがわ



本西 みつえ
超党派えどがわ



中野 ヘンリ
超党派えどがわ



きもと 麻由
超党派えどがわ



伊藤 ひとみ
超党派えどがわ



田村 ひろし
超党派えどがわ



小林 あすか
無所属の会



間宮 由美
無所属の会



神尾 てるあき
無所属の会



金井 しげる
無所属の会



ます 秀行
無所属の会



小俣 のり子
日本共産党



牧野 けんじ
日本共産党



大橋 美枝子
日本共産党



太田 あやか
日本共産党



丸山 れいこ
日本維新の会



林 あきこ
日本維新の会



滝沢 やすこ
無所属

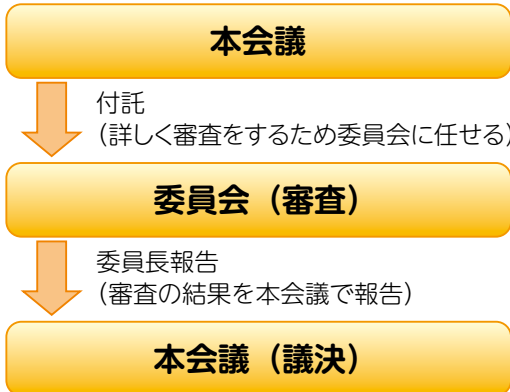


五十嵐 まさお
無所属

物価高騰負担軽減給付金給付事業費等を含む補正予算を可決



～議会の審査の流れ～



令和7年第4回定例会は11月21日から12月11日までの21日間の会期で開かれました。

- 14人の議員が区政の課題について、区長に質問を行いました。
- 区長から議案46件、報告3件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
- 議員が提出した議案2件は原案のとおり可決され、意見書は各関係機関に送付しました。
- 11月28日の一般質問の中に不適切な表現があったとして処分要求が提出され、12月11日の本会議に付されましたが、懲罰特別委員会の設置と同特別委員会への付託は否決され総務委員会へ付託されました。
- この定例会の会議録は、3月下旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。
- 上記のQRコードから本会議の録画配信映像を視聴できますので、ぜひご覧ください。

区政への質問

11月27日に代表質問、28日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードを読み込むと、各議員の質問映像がご覧いただけます。

代表質問

魅力発信・国際交流を深め、夢と希望が溢れるまちづくり

自由民主党
福本 みつひろ

問 葛西南部エリアでは都市計画マスタープランのもと個別のまちづくりが着実に進んでいるが、現状を解像度高くタイムリーに示すことが区民や事業者对未来への夢を抱いてもらうことに繋がる。まちづくりが進めば地域が活性化し区のブランドイメージも向上すると考えるが、進捗を取りまとめた発信方法について区長の所見を。

答 葛西南部エリアの現状とこれからの姿を一体的に示すことは、まちへの期待感を高め、区の魅力の創出に直結する。今後もエリア一体で進むまちづくりの姿を効果的なタイミングで分かりやすく伝え、未来への夢と希望を実感してもらえるようにしたい。

問 強い経済に向けた江戸川区版「経済対策」について。

①人件費や材料費の高騰で本区の中小企業が苦しい状況にある中、公共発注と経済循環の重要性について区長の所見を。

②融資制度が充実していると言われる江戸川区として、令和8年度に向けて強い経済を下支える融資制度を再構築することについて。

答 ①区内経済の発展には地域の稼ぐ力と地域経済の循環が重要と考え、物価高を考慮し公共発注は適正価格の契約に努めている。変動する経済状況を鑑み多角的に事業者を支援し区内経済活性化に寄与する政策実現に取り組む。

②中小企業の業績回復や経営強化に向けた資金需要に対応できる新たな融資制度の創設等を検討し、様々な経済変動に対応する資金繰り支援や持続可能な経営を後押しする環境を整える。

問 学校改築事業に係る今後の展望と課題について。

①学校改築事業が予定通りに進んでいない現

状において、今が原点に立ち返り様々な課題をあぶりだす最後の機会といえる。平成19年策定の「学校施設改築の基本的な考え方（第一次報告）」の令和7年度中の改訂に際し盛り込もうと考えている内容について、教育長の所見を。

②これまでの予算編成や公告時期が事業者にとって参加しにくいものであったと考えられる。今後の予算編成や発注スケジュールについて。

③事業者から見積調査は大きな負担であるとの声を聞く。サウンディング調査における見積書作成に係る費用負担の在り方について。

答 ①策定する改築計画では年3校の着手を維持しつつ、社会情勢に合った改築の在り方や財政計画、事業スケジュール等を改めて整理し、長期的で持続可能な計画になるよう進めていく。

②建築事業者への見積調査等により予定価格の精度を高め、今まで以上に市場に即した適切な工事価格と工期を設定し改築事業を推進する。

③企業によっては見積書作成に経費が発生すると認識している。見積調査の費用負担に関し手法や金額等について適切な在り方を検討する。

問 ドローンを防災部門以外の江戸川区花火大会等のイベント演出にも活用することで、イベント全体の魅力向上に繋がり本区のプロモーションの起爆剤となると考えるが、区長の所見を。



江戸川区花火大会でのエンターテインメント・ドローンの活用について

答 ドローンは大規模イベントでの観客誘導・警備面強化に活用できる可能性がある。江戸川区花火大会での導入には観覧席の見直しや経費増加の課題があるが、活用できるのか検討する。

問 姉妹都市・ホノルルを感じる江戸川区の実現に向けて。

①令和8年は盟約更新を控える重要な年であり両市の友好関係をより強固にすべきと考える。ウクレレを活用した交流等ホノルル市と連携した国際教育の実施について教育長の所見を。

②ホノルル市と姉妹都市盟約を結ぶ国内自治体

は多数ある。その中で当区が埋没することなく一過性のものにならないよう、交流や生活文化という視点から多くの区民がハワイを意識できる取り組みが重要と考えるが、区長の所見を。

答 ①清新第一中学校へのホノルル市生徒の来訪や小岩第二中学校でのオンライン合同授業等を通じて互いの文化を交流し英語に触れる良い機会となった。令和8年度はより多くの学校が直接的、間接的に交流できるよう働きかける。

②江戸川・ホノルルフェスティバル等を通じ多くの区民にハワイ文化を知ってもらうことができた。令和8年は協定の更新に向け大切な年だと認識しており、区民が身近にホノルルを感じられる取り組みを進め、ホノルル市との連携を更に深め強固な関係を構築していきたい。

中小企業の人材不足の解消に向けた取り組みは

公明党
くぼた 龍一

問 物価高騰による公共施設使用料の見直しは、支援が必要な高齢者等への減免措置継続等を含めてどのような考え方で検討してきたのか。

答 物価高騰分として算定した金額のおよそ半分を使用料に反映し、利用者負担を抑えたいと考えている。また減免制度の見直しは行わない。

問 歳を重ねても幸せに暮らせるまち条例の具現化の進捗と今後の進め方について。

答 基礎調査から高齢者施策の成果を感じている。事業を整理し不足分野の分析等を行う。

問 5歳児健康診査について。

①5歳児健診で発達障害の早期発見等に繋がることが重要であるが健診の概要や特徴は。

②5歳児健診や必要な支援に繋げることが困難な状況にある未就園児への対応について。

③発達特性がある子どもの必要な情報をどのように小学校に引き継ぐのか。

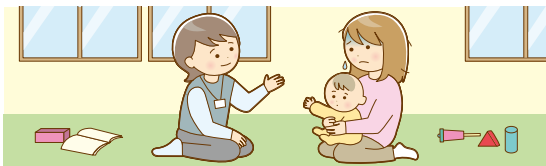
④児童が学校生活にスムーズに入れるよう、入学当初から介助員の配置をしては。

答 ①アンケートを活用した二段階方式の健診と関係機関が連携した切れ目ない支援を行う。②未就園児の保護者へのアンケート結果を踏まえ、必要な支援に繋ぐ等きめ細かく対応する。③就学相談結果を各学校へ共有する等、5歳児健診の実施により適切な受け入れ準備に繋げる。④5歳児健診の結果を活かし、介助員配置を現状よりも早期に行えるよう検討していく。

問 今後の保育政策の新たな方向性について。
①こども誰でも通園制度を着実に推進するために想定される課題と、その対策への取り組みは。
②幼稚園に通う2歳児に関する保育料をはじめとする保護者への経済的な支援について。
③保育所等における医療的ケア児の受け入れにあたり、現状の課題と今後の対応は。

答 ①制度の利用上限とニーズに乖離がある。利用時間拡充の検討や運営への支援等を行う。
②こども誰でも通園制度は国等の補助が活用でき、今後都の動向を踏まえ支援を検討する。
③受け入れ枠確保等に課題があり、専門性確保や医療との連携を整え必要な支援策を講じたい。

問 多岐に渡る課題に対して、こども家庭センターの機能の更なる充実を。




こども家庭センターの充実について


答 状況に応じた支援を提供し、児童育成支援拠点の増設や地域支援の強化等を実施する。

問 中小企業の人材不足の解消に向けてどのように取り組むのか、区長の所見を。

答 人材関連の相談体制や助成金等の支援拡充を検討し、持続的な成長を後押ししていく。



子どもの意見表明・参画、デジタル教育、住宅、香害
超党えどがわ
本西 みつえ



問 子どもの意見表明・参加の仕組みについて。
①子どもの権利の理解等、施策の効果を継続的に評価する子どもの権利アンケートを、区内全ての子どもを対象に定期的に実施しては。
②子どもが日常的に区政に関わる仕組みとして「(仮称)子ども会議」を常設化しては。



子ども会議について

③子どもの生活に関わる全ての部署で、子どもの意見を聴取し、反映する体制の構築を。

答 ①本区の「未来を担う子どものための区民基礎調査」の数値的指標は幅広く活用できると考えており、アンケートについては研究したい。
②様々な機会に子ども達から意見を聞き事業に反映している。子ども会議は参加者が限定的になる面もあり目的に応じた仕組みを検討する。
③子どもが意見を出しやすい取り組みの推進と多様な意見を施策に反映できるよう努める。

問 住宅確保要配慮者の住まい探しが円滑に進むために。

①セーフティネット住宅や新設された居住サポート住宅を今後どのように増やしていくのか。
②家賃低廉化事業の仕組みを整えるとともに、家主に対して国や都の補助に加え区の補助制度の活用事例の紹介や説明会の開催を。

答 ①支援策を区ホームページで周知する。居住サポート住宅は国の補助を活用し家主が安心できる仕組みを検討して住宅供給拡大を


進める。
②区ホームページ等での情報提供やセミナー開催等により、住宅供給への環境づくりを進める。
問 デジタル教育について。

①第1次GIGAスクール構想について学力や健康面等への検証、成果及び課題は。
②毎日の家庭学習においてタブレット端末の使用を前提とせず紙を選択できるよう見直しを。
③子どもの負担を考え、小学校低学年はタブレット端末持ち帰りをやめ学校に充電設備整備を。
④タブレット端末の長時間使用がトラブルになっている。端末の設定変更で使用制限の強化を。


答 ①教員への確認で家庭学習等、幅広い活用が判明した。一方で視力低下等の指摘は認識しており健康面との相関関係の情報収集に努める。
②多様な学びができるよう、デジタルと紙の良さを活かした家庭学習の在り方を検討する。
③充電設備整備の計画はないが、低学年での持ち帰りルールは現場の意見を聞き研究する。
④使用時間等を制限できるソフトの導入を予定しており、適切な使用制限を実施する。

問 香害について。
①学校現場において香害の周知啓発が必要と考えるが現在どのような対応を行っているのか。
②学校現場で香害に関する実態調査の実施を。

答 ①各学校は国のポスターを活用し、個人用の白衣使用を認める等取り組んでいる。
②実態調査を行う予定はないが、今後も国の動向を注視し、個別の配慮が適切にできるよう努める。



**子どもを守るために！
現役ママ目線で問う！**
無所属の会
小林 あすか



問 児童・生徒に配布されたタブレット端末について。

①タブレット端末を活用した学習環境の具体的な成果やSNS依存等に対する課題について。
②子どものタブレット端末等利用時の姿勢指導等と、姿勢維持に必要な体力不足について。
③タブレット端末を含む通学時の荷物の重量は児童・生徒の大きな負担である。ICT活用と健康の両立のため効果的な改善策検討を。



タブレット端末を含む通学時の重量について

答 ①興味に応じた学習活動が推進され教室外の学び合いも見られる。長時間閲覧による健康被害等の課題も考慮し学びの効果を高める。
②小学校低学年から正しい姿勢を指導しており、タブレット端末活用時も同様の指導をしている。
③タブレット端末不使用時は家に置く等工夫する学校もあり負担軽減の取り組みを進めていく。

問 学校運営を保護者や地域と一緒に支える機会等をつくることについて教育長の所見を。

答 文部科学省推奨のコミュニティ・スクールのモデル実施を行い導入への検証を進めている。

問 戦争の記憶等を継承するため、区が収集する戦争資料を学校現場でどう活用するのか。

答 各学校で様々な教育活動を通じて平和に

関する学習を行っている。収集した戦争資料は学校の実態に合わせて授業等で活用していく。

問 学校現場における性犯罪報道を受けた対応について。

①児童・生徒や保護者の安心に繋がる、隠しカメラの探知機を導入して性犯罪の予防措置を。
②国から校内点検の警察や第三者機関との連携が示されたが、区の対応状況と今後の方針は。
③教育活動中の撮影機器使用に関するルールの明確化や、教職員への性暴力防止研修及び相談体制が必要と考えるが現在の対応状況は。


答 ①探知機導入予定はないが、各学校へ定期施設点検の指示等、今の対策を確実に実施する。
②警察職員が学校を巡回する制度等があり、引き続き関係機関と連携を図り安全を維持する。
③区では全校で教員研修等を実施し、児童・生徒には困った時に相談できる都の窓口を紹介している。今後も性暴力防止の意識を高めていく。

問 子どものマンション転落事故防止に向けて、都の「子供を守る住宅確保促進事業」を区ホームページに掲載する等、早急に周知を。


答 本事業を区ホームページで周知していきたい。保育園等で保護者に注意喚起を行っておりハード・ソフト両面で事故防止に取り組みたい。

問 病児保育に関し病児保育施設への送迎サービスを行う事業者の拡充と事業の周知を。

答 新しく施設を空白地域へ開設する等、体制を整えてきた。子育てガイド等で事業の周知を行い送迎サービス拡大は需要を見極め検討する。



**物価高騰の中の施設使用料
値上げNO!住まいは人権**
日本共産党
牧野 けんじ



問 物価高騰への対応について。

①電気代補助の冬季・夏季の実施の検討を。



冬季・夏季の電気代補助について

②公共施設と駐輪場使用料引き上げについて。
1)物価高騰の中、JRの運賃引き上げと重なる時期に実施することについて区の認識は。

2)区民の負担総額と意見聴取の実施について。
答 ①冬季補助は国が実施予定である。令和8年夏季の補助は国等の動向を踏まえ検討する。
②1)物価高騰分の一部を適切に価格転嫁するもので、丁寧に説明する期間を確保していく。
2)物価高騰による影響の半分以上を反映することとし、およそ9,000万円と試算している。

問 「住み続けられる江戸川区」について。

①再開発事業における投機目的のマンション売買が及ぼす影響への認識と対応について。

②家賃引き上げトラブルの相談対応の現状と都の特別相談窓口、基本的知識の周知・啓発を。

③「住まいは人権」の立場で住宅課の設置を。

答 ①居住ニーズに基づく取引が行われていると聞いているが、情報収集等を続けていく。
②家賃値上げの相談は住宅係に寄せられている。都相談窓口への案内と併せ丁寧に対応する。
③社会情勢を注視し適切な対応に取り組む。

問 学校改築等の公共施設建設の今後について。


- ①民間需要に押されている中、今後の見通しは。
②公共施設建設工事の入札不調対策について。
1)入札不調の近年の傾向と区の検証状況は。入札不調になった場合の基準を設けるべき。
2)高額随意契約の妥当性を判断する基準を設け、随意契約結果は理由等とともに公表を。

答 ①事業者の声を踏まえると旺盛な民間需要が予測されるため、市場動向を注視する。
②1)増加傾向にあり業者ヒアリング等で原因分析を行った。基準創設は現在考えていない。
2)ガイドライン作成を検討し、公表は研究する。
問 篠崎地区の「高台まちづくり」高規格堤防事業について。

- ①上篠崎一丁目地区の地盤強度について。
1)事前と事後の地盤調査の実施について。
2)沈下観測結果の公表について。
②新たな地区での進め方について。


答 ①1)国が事前、事後の調査を実施する。
2)宅地引き渡しの際権利者へ説明し、結果公表は地域の声を伺い検討すると国から聞いている。
②意見交換会等を継続し検討内容を共有する。

一般質問



**「巧言令色鮮し仁」人の心
を見つめる責任ある政治を**

自由民主党
田島 寛之



問 ひきこもり支援に関し就労を求める当事者への繋がり続ける支援と多様な就労の場を選択できる環境づくりを行うことで人手不足の現状に一石を投じることができるのでは。また外国人との共生に懐疑的な考えがある中外国人との共存を目指す本区の方角性を区民に伝えるためどのような考え方で情報発信していくのか。

答 一人ひとりの状況に寄り添いながら相談支援を行っており、複数の就労の選択肢を用意してきた。ビール販売や金魚の養殖等にも着手し、区立図書館で就労体験を積めるようにする。外国人も同じ区民と考えるが言語の壁等もあるため、窓口の多言語化等を進めている。今後も安心な生活に繋がる施策を展開し、様々な機会を通して共生社会の大切さを発信していく。

問 少額随意契約の上限額が200万円に拡大されたが、政令市等ではより高い上限額となっており、本区も同等の扱いでも良いと考える。上限額拡大により学校等の相応の規模をもった施設設備等の不具合が生じた場合に対応できているのか。また、上限額を超える工事に対し、今の制度の中で教育現場が必要とする時スピード感を持って対応することが可能なのか。

答 上限額拡大で給食室の換気扇等規模の大きな設備にも迅速な対応が可能になったが、対応できるのは一部で、より大規模な工事は入札が必要で時間を要する。緊急性の高い工事は緊急随意契約を活用して迅速な対応が可能か調整しており、要件の体系化により公正さの担保も含めて検討している。引き続き丁寧な説明を行い適正かつ迅速な対応方法を模索し実現したい。


問 子どもにとっての遊びは心身の成長に不可欠なものであるが、都市化や安全性への懸念、異常気象により子どもが安心して遊べる場所や屋外で遊ぶ機会が減少している。全国では全天候型の遊び場を整備する自治体が増えている中、

雨の日等でも様々な体験を通じて子ども達が安心して思い切り遊べる環境をどのように確保していくのか、区長の所見を。

答 子どもの権利条例を持つ本区でも、子どもが自由に遊び挑戦できる環境整備は必要と考える。令和5年度に実施した区民基礎調査では、自由に遊べる場所を望む声が多く寄せられた。現在、屋外では公園やポニーランド等、屋内では子育て広場等の施設を確保しているが、熱中症対策の観点も含めて様々な角度から子どもの遊び場を検討していきたい。


問 障害児を受け入れる保育園の新設等の環境整備が行われていく一方、配慮を要する児童の受け入れ増加により保育等の現場の負担が増している。多様なニーズに応えるためには現場の協力が不可欠である。今後、保育の現場では更なる負担増加や人手不足が想定される中、障害児への対応増加に対してどのような支援を考えているのか、区長の所見を。

答 国は保育施策の在り方として障害児・医療的ケア児の保育所等での受け入れ強化を挙げており、本区では保育所等での障害児受け入れが年々増加している。保育現場では個々の成長に合わせた支援等が必要なため、配慮を要する児童の対応に係る補助金や専門機関による研修等行っている。今後は5歳児健診の実施で保育提供体制の更なる整備が必要と考える。保育事業者と連携を図り必要な支援を検討していきたい。



**東部地区に新たな公共交通
グリスロを走らせよう!**

公明党
川瀬 やすのり



問 葬送の区民負担増や公平性低下が懸念される中、区民葬儀制度の今後の在り方について。

答 負担軽減のため特別区長会で助成制度を創設した。火葬場の在り方は国等と検討していく。

問 子ども達への防災教育の推進について。

答 学校にある備蓄物資等を知り、防災設備を操作する等共助の担い手になれるよう推進する。

問 避難行動要支援者対策について。

①個別避難計画作成の進捗状況と命の尊厳を守る実効性のある支援について区長の所見を。

②避難行動要支援者の避難先と避難所運営における支援態勢について区長の所見を。

③避難行動要支援者の状況を正確に把握するため安否確認や情報発信手段が必要と考えるが。

答 ①8710人が作成済みであり計画を避難訓練等に反映し実効性のある支援に繋げたい。
②全対象者受け入れに向け避難先を確保している。各避難先で施設職員等を中心に支援する。
③避難行動要支援者の安否確認と確実に情報を届けられる手段を検討していく。

問 ペットの同行避難の推進と周知・啓発の強化について。

①町会、自治会等が実施する防災訓練におけるペットの避難に関する取り組みの現状は。

②ペット同行避難訓練の必要性への認識と今後の推進について、区長の所見を。

③災害時に行動できるまで理解を深めるための実践的な取り組みの周知や今後の啓発方針は。

答 ①関連情報を区ホームページ等に掲載し、避難所運営協議会で説明等を行っている。
②問題点の把握や不安の払拭に役立つため、実施に向け環境整備や町会等へ働きかけていく。

③ペットの防災手帳の配布等で周知している。今後も講習会や様々な機会を通じ啓発に努める。


問 東部地区の喫緊の諸課題について。

①くつろぎの家跡地を活用する共生複合施設の実現に向けた今後の取り組みと区長の思いを。

②江戸川四丁目の防災公園整備の進捗状況と今後のスケジュール、完成の目途について。


③新たな公共交通グリーンスローモビリティの試験走行実施に至った経過と今後について。

答 ①誰もが気兼ねなく安心して利用できる施設を目指し、地域等の意見を聴き丁寧に進める。
②都の川側の景観工事完了後に公園整備に着手予定で、令和10年度の完成を目指す。
③コミュニティバス実証運行に課題があり検討した。ルートの検討や運転手確保等に取り組む。



**不法投棄の対策強化、伝える
広報物、包括的性教育**

超党えどがわ
きもと 麻由



問 不法投棄を改善する取り組みについて。

①不法投棄がなくならない現状をどのように認識しているのか。また見回り以外に具体的にどのような対策を行っているのか。

②不法投棄の改善が見られない集積所では防犯カメラの設置や戸別収集への切り替え等、踏み込んだ対策を行う必要があると考えるが。

答 ①不法投棄は生活環境の悪化等を招く違法行為で、通常のごみ収集作業にも支障を来している。看板の貸し出し等未然防止に取り組んでおり、排出状況が改善しない場合は地域と協議のうえ集積所の廃止等対応を行う場合がある。
②防犯カメラは設置を促しており、戸別収集は財政負担や公平性の観点から安易に変更すべきでないとする。ごみの出し方の分かりやすい周知と不法投棄発見時の区への連絡方法の検討等、区民と協働した不法投棄対策を進めていく。

問 ポスターやチラシ、パンフレット等、区の広報物のクオリティを上げる取り組みについて。

①各部署が作成する広報物の中には内容が伝わりにくいものも見受けられる。広報課が行う広報物相談の活用状況と現状の課題認識は。

②区が制作する広報物のクオリティチェック等に、現在事業連携を進めている東京藝術大学の教員に協力を得ることを検討しては。


答 ①令和7年10月末までに692件の広報物を改善した。良い行政サービスも対象者に伝わらなければやっていないと同じである。区民目線の伝わる広報物づくりを行っていく。
②区ガイドラインをもとに広報物のクオリティ向上に取り組み、東京藝術大学とも相談していく。

問 包括的性教育について。

①行政が責任を持ち、正しい知識を確実に伝えられる専門家による教育の場の保障は不可欠である。外部講師による出前授業の推進を。


②区内全ての保育園・幼稚園・小学校・中学校で出前授業を実施することが必要と考えるが。

答 ①外部講師による効果は認識しており、産婦人科医や助産師、弁護士等を招いて発達段階に応じた講話等を行っている。子ども達が互いを尊重し合う社会の担い手となるよう推進する。
②区立保育園、区立幼稚園及び各学校で出前授業を実施している。保育士への包括的性教育研修を実施するとともに保護者向けにも講演会を実施する等、包括的性教育を学べる場を整える。



**学校工事の入札は区内業者に
限定せず区外へ開放せよ!**

無所属の会
ます 秀行



問 当初予算編成方針に掲げたE B P Mについて本区の発展のためにどのように活用し、短期的効率性と未来への投資を両立させていくのか。

答 継続事業もE B P Mで検証・分析による見直しを進め、最小経費で最大効果を追求し、中長期的に持続可能な財政運営に意を用いていく。

問 建築基準法違反建築物への指導と同法における高さ制限について。

①違法状態の屋上プレハブへの是正指導について、立地条件や老朽化状況に応じ危険度の高い順に優先順位をつけることで実効性の向上を。
②老朽化マンションの建て替えの促進や防災力向上のため、他区の先進事例を参考に建物の高さ制限の在り方を検討すべきと考えるが。

答 ①個別指導等を行ってきたが是正に至らない物件もあり、台風による落下等の危険性が高い物件について重点的に粘り強く指導を続ける。
②高さ制限緩和は有効な方法であるが周辺環境への影響もあり慎重な判断が必要である。他自治体の動向を注視し有効な制度を研究したい。

問 学校改築初の区外業者単独施工となる上小岩小学校改築工事で、区内業者単独やJ V方式による施工等と比較するため下請け業者の活用状況や安全・品質・工程管理の定量的検証を。


答 江戸川区請負工事成績評定事務要綱に基づき施工管理等を点数で定量評価している。上小岩小学校改築工事も同様に評価するとともに、区内下請け業者の活用についても注視していく。

問 戦後80年の資料収集事業で太平洋戦争に至る経緯理解のためにも、日清・日露戦争等の資料収集や展示、既存資料を含めデータ化を。

答 本事業は主に太平洋戦争を念頭に置いているが、太平洋戦争以前の貴重な資料も平和の啓発に寄与するものとして収集していく。


問 公共事業には公平性が求められる中、経営者や住所等が同じ実質的同一会社に対し、法人格否認の法理を適用しない理由と今後の対応は。

答 法人格否認は例外的で本区で適用事例はない。疑わしい場合は資料提出を求め法人格否認の法理が適用されるか確認し適切に対応する。



国保料引き下げ、不登校対応の充実、35人学級早期に

日本共産党
大橋 美枝子



問 医療保険制度について。

①法定外繰入で国民健康保険料の引き下げを。
②国民健康保険全加入者へ資格確認書交付を。
③O T C類似薬保険外しに対し国へ反対意見を。

答 ①負担と給付の均衡を図り制度運営を行う。
②制度の趣旨を踏まえ必要な方に交付していく。
③保険者として国の議論の動向を見守りたい。

問 やむをえず学校に通うことができない、不登校状態にある子どもへの対応について。

①区内の不登校の実態や増加傾向の要因は。
②学校が安心安全な場になるために努力したことは。チャレンジクラス増設の働きかけを。
③不安を抱える保護者への支援拡充について。
1)学校内でのスクールソーシャルワーカー等の

保護者支援、相談場所紹介の方法について。

2)相談場所の拡充や不登校親の会の紹介等を。
3)区独自で不登校特例校利用者へ学費補助を。
4)介護休業の拡充を国に求めるべき。

④学校での支援拡充の仕組みづくりについて。
1)エンカレッジサポーター等の拡充等について。
2)各学校で職員や関係者との情報共有推進を。

答 ①小学校高学年から中学校にかけて増加傾向で要因は複雑・多様であると認識している。
②繋がりのない児童・生徒をゼロにすべく取り組んできた。増設は都教育委員会に相談したい。
③1)教育相談の充実、情報提供の強化を進める。
2)不登校親の会等を通じて保護者の孤立を防ぐ。また相談場所の拡充については研究したい。
3)給食費相当分の補助金を支給している。
4)今後の国や都の動向を情報収集していく。


④1)持続可能で効果的な支援を研究したい。
2)会議等で情報共有等の実施を一層推進する。

問 中学校の35人学級の実施について。

①中1ギャップ教員加配の目的と利点は。


②都に中学校全学年で35人学級実施要請を。

答 ①小学校から中学校への円滑な接続等が目的であり各生徒にきめ細やかな指導ができる。
②実施予定のため都等へ要請は考えていない。



**損害賠償の徴収断行を!!
高齢者を情報弱者にするな**

日本維新の会
丸山 れいこ



問 分割契約に関連する事項について。

①区が行った損害賠償請求の状況について。
②実質的同一と見える法人の捉え方について。

答 ①現時点で納付は確認されていない。
②法人格が別のため別法人として対応する。


問 区民まつり等の事業補助金交付について。

①補助金を決める際の区の基本的な考え方は。
②区民まつりにおける送迎バスの運行を。

答 ①地域の自主性を尊重した支援をしていく。
②実行委員会とも相談して研究していく。


問 高齢者に向けての情報伝達について。

①高齢者への情報伝達における課題の認識は。
②高齢者世帯に広報えどがわの全戸配布を。
③紙とオンラインで高齢者ガイドブックの整備を。
答 ①加齢による能力低下等に配慮している。
②全戸配布は行わないが、発信に工夫を重ねる。
③サイト以外の情報提供の方策も検討していく。




**知る権利は区民の人権
区は子どもへの説明を**

無所属
滝沢 やすこ




問 平井東小学校渡り廊下問題を当事者に伏せていたことは不適切で学校等で説明会実施を。

答 分割発注問題は児童等の安全に関わる部分に留意し学校へ適切に情報提供を行っている。



**受験のための勉強ではなく
本当に必要な教育とは何か**

無所属
五十嵐 まさお



問 現代教育の方向性の現状と課題について。

①グローバル教育を推進する目的は。

②アイデンティティを形成する教育について。

③学力偏重への懸念に対する認識は。

答 ①自ら未来を切り拓く力の育成である。

②学校教育全体で行われるものである。

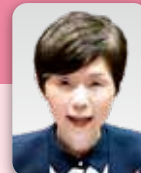
③好ましくなく問題解決能力等を総合的に育む。

問 部活動が果たしてきた役割と意義、江戸川区の教育理念の中の部活動の位置づけについて。

答 学習意欲の向上等教育的意義が高く、地域連携で新しい価値を創出できる活動にしていける。


問 部活動の縮小や地域移行が子どもに及ぼす影響と、部活動維持の学校判断への対応は。

答 社会性や意欲の向上等が期待される。生徒・学校・保護者・地域の考えを尊重し進めたい。



**子どもの主体性を育む教育
と不登校支援の強化を!!**

公明党
川合 さなこ



問 子どもの主体性・当事者意識を育む教育の推進について。

①本区の現状について教育長の所見は。

②全教育活動での推進に向け教育長の所見は。

答 ①学級活動等で合意形成を図る機会をつくる等、各学校が工夫して取り組んでいる。
②国等の動向を注視して授業改善を支援する。

問 不登校の支援強化について。

①不登校支援の情報提供・発信の現状について。
②地域資源や居場所情報等、あらゆる支援の情報を集約したポータルサイトを開設しては。

③支援の流れを分かりやすく情報提供するため本区版の不登校支援リーフレットを作成しては。

答 ①区ホームページで相談場所等の周知を、各学校では個別の情報提供等を行っている。
②都ポータルサイトの有効活用と保護者の需要に応える区の情報発信の在り方を検討していく。

③リーフレットに情報をまとめ活用を進めていく。

問 子どもの自殺対策について。

①法定協議会の設置で関係機関と密な連携を。

②法改正で学校の責務が明記されたことを受けて、自殺対策強化に向けた教育長の所見を。

答 ①国の指針を参考に設置し連携強化する。
②関係機関との連携と相談体制の充実に向け、今後のモデル事業を基に対策を推進していく。

問 子宮頸がん撲滅に向けたHPVワクチンの接種率の向上と男性接種への助成について。

①定期接種対象者と保護者への周知の充実、キャッチアップ未完了者へ年内中の更なる周知を。

②区独自の男性接種助成に9価ワクチン追加を。

答 ①様々な機会を活用して周知・啓発を行う。
②都の動向を注視して助成を検討していく。

問 篠崎地域の高台まちづくりについて。

①高規格堤防整備の意義に対する考えについて。

②篠崎地域における補助第286号線の都県橋計画を見据えた一体的なまちづくりの展望は。

答 ①大規模水害時の避難路確保等、都市基盤の整備を含むまちづくりとして捉えている。
②地域の思いを受け止めながら、関係機関と連携を強化して安全安心なまちづくりを目指す。



議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記の QR コードからご覧になれます。



令和 7 年第 4 回定例会

■ 全会一致となった議案等の審議結果

件 名		結果
区 長 提 出 議 案	令和 7 年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決
	令和 7 年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	
	令和 7 年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	
	令和 7 年度江戸川区一般会計補正予算 (第 6 号)	
	令和 7 年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	
	令和 7 年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	
	令和 7 年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)	
	令和 7 年度江戸川区一般会計補正予算 (第 7 号)	
	江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
	江戸川区育成室条例を廃止する条例	
	江戸川区住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例	
	江戸川区印鑑条例の一部を改正する条例	
	生活に困窮しても安心して暮らせるまち条例	
	江戸川区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
	江戸川区認定こども園の認定要件に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区客引き行為等の防止に関する条例	
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	

件 名		結果
区 長 提 出 議 案	江戸川区総合区民ホールの指定管理者の指定について	可決
	江戸川区総合文化センターの指定管理者の指定について	
	江戸川区立穂高荘の指定管理者の指定について	
	塩沢江戸川荘の指定管理者の指定について	
	江戸川区民センターの指定管理者の指定について	
	江戸川区総合体育館の指定管理者の指定について	
	江戸川区スポーツセンターの指定管理者の指定について	
	江戸川区スポーツランドの指定管理者の指定について	
	江戸川区陸上競技場、江戸川区球場及び江戸川区臨海球技場の指定管理者の指定について	
	江戸川区立ホテルシーサイド江戸川の指定管理者の指定について	
	江戸川区そよ風松島荘の指定管理者の指定について	
	江戸川区立障害者就労支援センターの指定管理者の指定について	
	江戸川区小岩児童発達支援センターの指定管理者の指定について	
	江戸川区営本一色町第二アパート、江戸川区営江戸川中央一丁目第二アパート及び江戸川区営中葛西四丁目アパートの指定管理者の指定について	
議員提出 議案	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	可決
	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	
請願・ 陳情	第 88 号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	採択

区長提出議案に対する議員別の
審議結果はこちらをご覧ください。



■ 11 月 28 日 議決分

■ 12 月 11 日 議決分

■ 意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 12月11日に欠席した議員を含む
 ※2 副議長を除く

件名			自民	公明	超党	無会	共産	維新	無所属(50音順)		結果
			13人※1	11人※2	6人	5人	4人	2人	1人	1人	
区長提出議案	予算	令和7年度江戸川区一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	条例	江戸川区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	
		江戸川区良好な生活環境の確保に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	
		使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	
		江戸川区自転車駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	
		江戸川区長及び副区長の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	
		江戸川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、超党…超党えどがわ、無会…無所属の会、共産…日本共産党、維新…日本維新の会、
 無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

皆さんから提出された請願・陳情

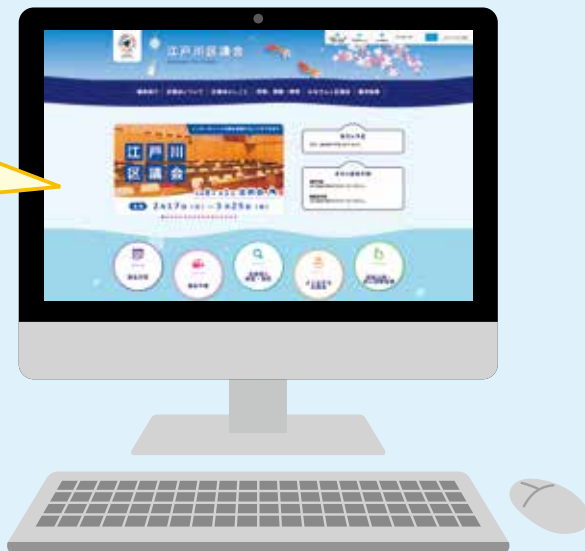
請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの		付託委員会
89号	江戸川区内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」をなくす取組みに関する陳情	文 教 委 員 会
90号	職員団体の組合費給与天引き（チェックオフ）手続きの適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情	総 務 委 員 会
91号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	総 務 委 員 会 参 考 送 付
92号	シルバー人材センターの会員に対し、熱中症対策として空調服を支給するよう求める陳情	福 祉 健 康 委 員 会

区議会ホームページをご覧ください

江戸川区議会ホームページは、多くの皆様に議会活動に親しみをもってもらえるよう、様々な情報を随時発信しています。ぜひご利用ください。



スマホやタブレットからもアクセスできます

まずはアクセス！



区議会ホームページURL
<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



議会日程

本会議や委員会の予定等を月ごとにご確認いただけます。日程を更新した場合は、「新着情報」でお知らせをしています。



会議録の検索・閲覧

本会議、各委員会での審議内容(会議録)を公開しています。年単位で閲覧でき、詳細検索機能を使って会議種別や発言者等、絞り込んだ検索ができます。



議会中継

本会議、予算特別委員会、決算特別委員会の様子を、生中継及び録画映像で公開しています。本会議においては手話通訳映像も配信しております。



よくわかる区議会

小中学生向けのコンテンツです。「区議会って何?」「区議会議員ってどんな人?」等、子ども達が楽しんで学べるように分かりやすく解説をしています。



区議会の取り組み

区議会の特色ある取り組みを紹介しています。「SDGs」をクリックすると、SDGs中学生議会の活動がご覧いただけます。全体勉強会や、本番当日の様子の動画もありますので、ぜひご覧ください。

その他にも、議案や請願・陳情の審査・審議状況、審議結果、議員名簿、区議会だよりのバックナンバー等、議会関連情報の積極的な発信に努めています。今後も区民の皆様により身近な区議会を目指し、区議会広報委員会が中心となって情報発信に努めていきます。

議員から提出された議案 —意見書は各関係機関に送りました—



○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書

〔東京都知事 あて〕

○巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

〔内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（防災担当）、総務大臣 あて〕

詳しくは、江戸川区議会ホームページをご覧ください。

議員研修を開催しました

【テーマ】社会保障・社会福祉の課題と展望について

【講師】慶應義塾大学 経済研究所ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター センター長

駒村 康平 氏

今回の研修では、令和6年9月に改訂された「高齢社会対策大綱」から見える社会保障・社会福祉の課題について学びました。当大綱の基本的な考え方や各分野における施策のポイント、国と自治体の役割、高齢者の金融経済活動への支援のあり方、並びに高齢期に向けた資産形成支援と金融包摂の確立のための金融と福祉の連携等について理解を深めました。

今後も江戸川区議会は、本研修で得た知見を活かし、高齢者を含めた区民がいいきと安心して暮らせる社会の実現に向けて努力してまいります。



研修の様子

令和8年第1回定例会開催予定

※日程は変更になる場合があります。

- | | | |
|------------------|-------|----------------------|
| 2月17日(火) | …………… | 本会議(議案上程、委員会付託) |
| 20日(金) | …………… | 本会議(一般質問) |
| 24日(火) | …………… | 本会議(一般質問) |
| 2月26・27日 | } | 予算特別委員会 |
| 3月 2・3・5・6・9・11日 | | |
| 12日(木) | …………… | 常任委員会(議案審査) |
| 13日(金) | …………… | 各常任委員会(議案、請願・陳情等の審査) |
| 25日(水) | …………… | 本会議(委員会報告及び表決) |

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎高 木 ひでたか	○関 根 まみ子	
笹 本 ひさし	神 尾 てるあき	小 俣 のり子

写真で振り返る 江戸川区議会の1年間

予算特別委員会



令和7年第1回定例会において予算特別委員会を設置し、8日間にわたり令和7年度の予算を審議しました。

2月



SDGs中学生議会全体勉強会



各学校から選出された中学生達が集まり、江戸川区SDGs中学生議会に向けた全体勉強会が開催されました。

6月



江戸川区総合防災訓練



情報収集訓練や参集訓練を行いました。

9月



SDGs中学生議会



江戸川区SDGs議員連盟の主催で11月8日に「江戸川区SDGs中学生議会」が開催されました。

11月



第1回臨時会



令和7年第1回臨時会が開催され、議長・副議長の交代や委員会のメンバーが変更になりました。

5月

安曇野市議会の表敬訪問



7月9日から10日にかけて長野県安曇野市議会一行が江戸川区議会を表敬訪問しました。

7月

決算特別委員会



令和7年第3回定例会で決算特別委員会が設置され、8日間にわたり令和6年度の予算が適正に執行されたかを審議しました。

10月

議場コンサート



令和7年第4回定例会の初日に議場コンサートを開催し多くの方に鑑賞していただきました。

12月